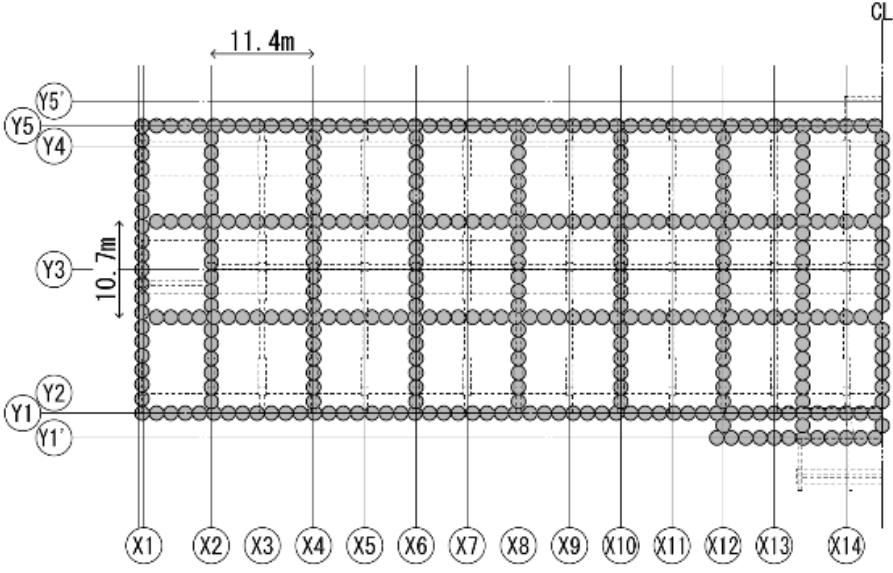
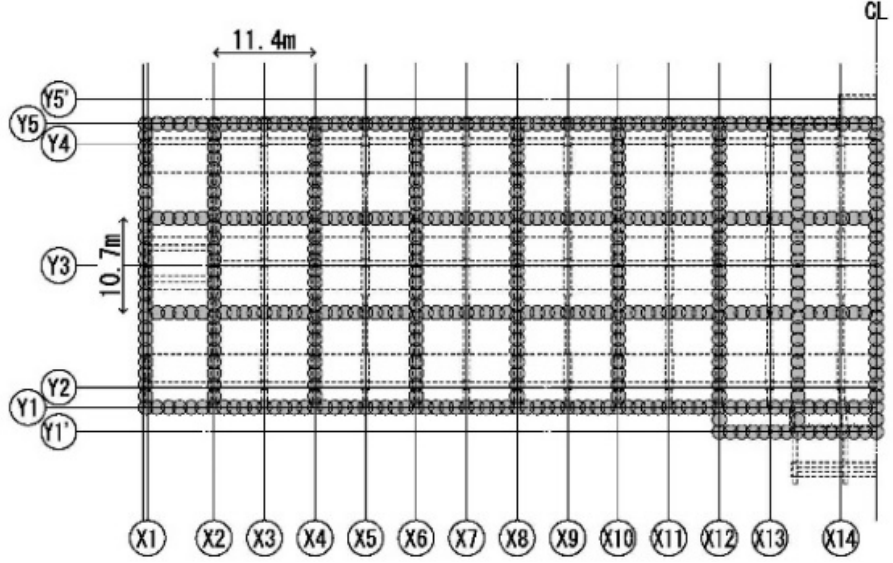


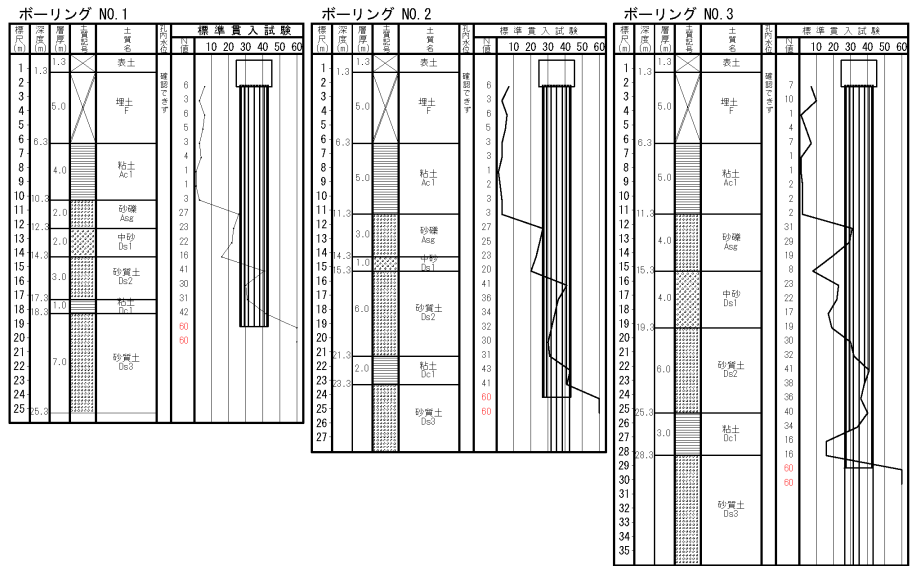
『建築基礎構造設計例集』 [第3版] 正誤表

整理番号1から5まで 第2刷にて修正予定

整理番号	設計例	頁	訂正箇所	誤	正
1	2.3	63	図 2.3.6	<p style="text-align: center;">誤</p> 	<p style="text-align: center;">正</p> 

整理番号	設計例	頁	訂正箇所	誤	正
2	2.4	101	本文 下 1-2 行	「なお、沈下によって建物の構造部材に有害な損傷の生じないことを、別途確認している。」	左の文章を削除。
3	3.5	237	本文 最下行	右の文章を追加。	「本設計例の上部構造の平面計画と杭配置は、設計例 3.7 のそれらと同じで（ただし、平面の X 方向と Y 方向が逆）、地上の階数を 8 階から 7 階に減らしたものとなっている。」
4	3.5	249	3.5.7 (1) 第 1 段落	右の文章に変更。	「本設計例では、杭仕様が全て同一であること、また、上部構造の平面計画と杭配置が本設計例と同様である設計例 3.7 の解析結果 (p.298) から、いずれの杭も、水平抵抗の検定比は Y 方向よりも X 方向の方が大きくなると考えられる。そこで、解析モデルは、X 方向 1 列 4 本の杭と基礎梁から成る図 3.5.8 の群杭フレームモデルとした。レベル 1・レベル 2 荷重に対応する X 方向の建物慣性力と地盤変位を目標値として 1000 ステップの逐次静的増分解析を行い、杭応力を求めた。解析には、群杭 EASY PILE ver.4 ^{3.5.1})を使用した。」

誤



正

